

駐車場管理運営業務仕様書

本仕様書は、岐阜県総合医療センター駐車場管理運営業務に関する業務の仕様について規定するものである。

1. 病院及び駐車場の概要

- (1) 所在地：岐阜県岐阜市野一色4丁目6番1号
岐阜県総合医療センター
- (2) 病床数：620床
- (3) 外来患者数：1,414人/日（2024年度実績）
- (4) 職員数：1,680人（非常勤職員含む。2025年4月1日現在）
- (5) 敷地内駐車場台数：外来患者駐車場510台、職員第1駐車場461台
計971台（2026年2月現在）
- (6) 駐車場管制システム機器：別紙図面のとおり

2. 委託期間

2026年4月1日～2027年3月31日

3. 業務内容

- (1) 駐車場常駐係員：4名（最低必要人数）
- (2) 外来駐車場管理に関し、相当の知識及び経験を有する者1名を管理責任者として任命すること。管理責任者は業務の指導監督並びに現場監視を行い、外来駐車場管理業務の完全遂行を期するものとする。
- (3) 業務日時は、原則として当院外来診療日の8:00～16:00とする。ただし7:00～8:00及び16:00～17:00の間には最低1名の係員を配置し、外来駐車場管理を行うものとする。8:00～12:00の間は5名の係員を配置し、外来駐車場管理を行うものとする。
- (4) 外来駐車場が円滑に運営できるよう外来駐車場利用者の安全確保業務及びそれに付随する発券精算補助業務を行う。正面玄関前横断歩道については、来院患者の安全を確保すること。また、来院患者等に不快感を与えぬよう安全な誘導等を行うこととし、そのための教育、研修実施等に努めること。
- (5) 外来駐車場満車時における病院敷地外路上での入庫待ち車両に対して、誘導案内を行うこと。なお、本業務は警備業法に定める2号業務に基づいて実施すること。
- (6) 現金回収（1週間に1回以上）、納金業務、消耗品（駐車券、ジャーナル紙）の管理を行うこと。なお、駐車券、ジャーナル紙・領収書用紙については、受託者の負担とする。本業務は警備業法に定める3号業務に基づいて実施すること。
- (7) 釣銭用の硬貨及び紙幣を用意すること。また釣銭の精査を行い、必要があれば補充を行うこと。

- (8) 外来駐車場入出庫利用台数、売上金のデータは月次でまとめ、翌月 10 日までに報告すること。
- (9) 必要に応じて売上ジャーナルの精査を行い、定期的に監査を実施すること。
- (10) 機器のトラブル等により料金の手徴収及び返金が必要となった場合は、所定の外来駐車場利用料の徴収および返金を行うこと。また、領収書が必要な利用者には手書きの領収書を発行すること。
- (11) 常駐時間内において、外来駐車場及び職員第 1 駐車場の一次トラブル対応を行うこと。
- (12) 常駐時間内において、職員第 1 駐車場内に職員以外の駐車がないか確認すること。
- (13) 常駐時間内において場内を巡回し、粗ごみ清掃を行うこと。
- (14) 出口精算機に問い合わせ及びトラブル対応用のインターホン、状況確認用カメラを設置し、コールセンター等にて 24 時間 365 日対応を行うこと。
- (15) トラブル時等でゲートが開かない場合には、迅速に遠隔にてゲートを開け出庫ができること。
- (16) 駐車券紛失、駐車券読み取り不良時には、入庫時間の確認により、精算できる仕組みであること。
- (17) 運用実績の定期報告及び業務改善協議を定期開催し、外来駐車場の管理状況及び改善提案等を定期的に報告すること。

4. その他

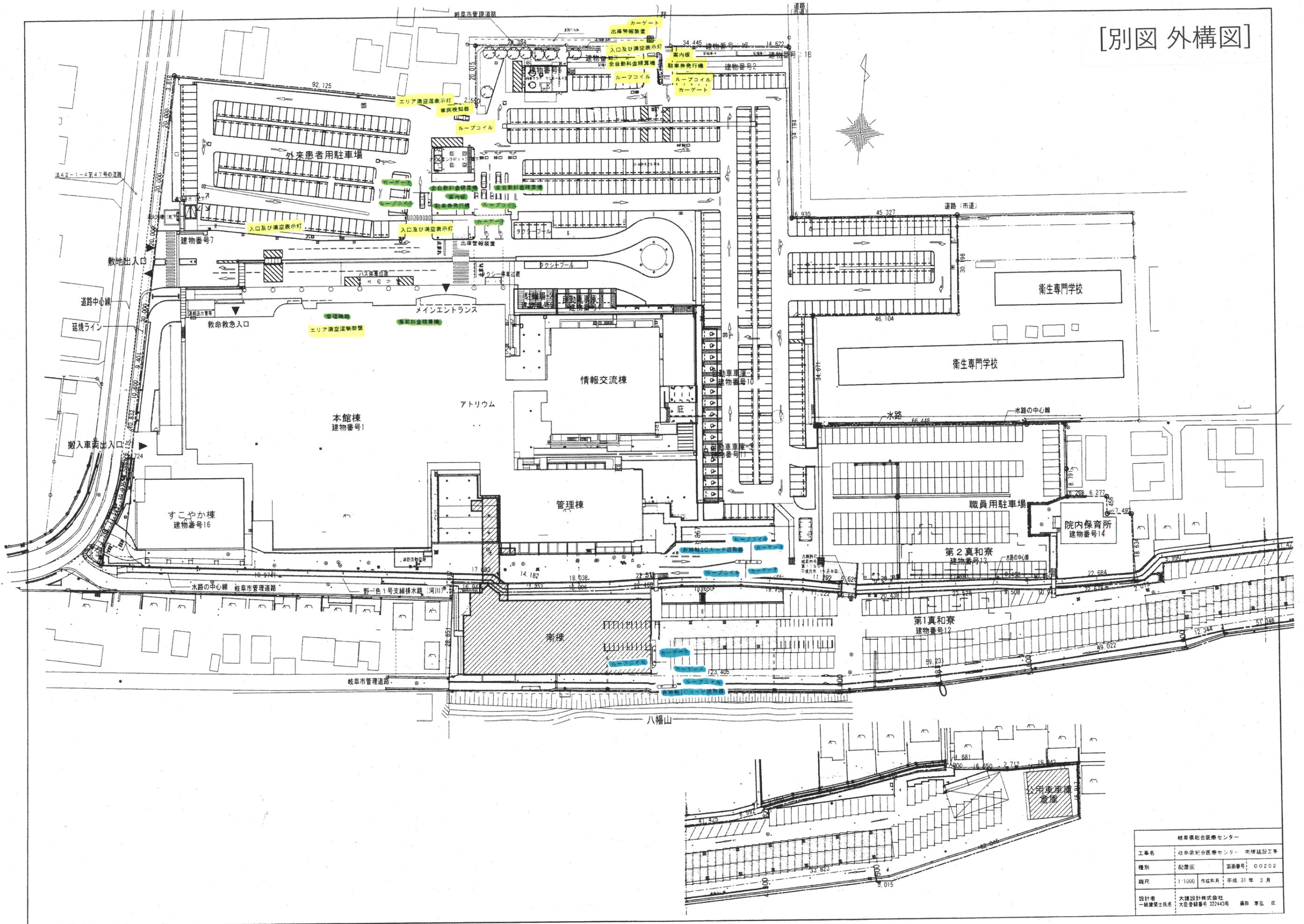
その他の事項について疑義が生じた場合は、協議のうえ解決するものとする。

なお、駐車場常駐係員は制服等を着用すること。

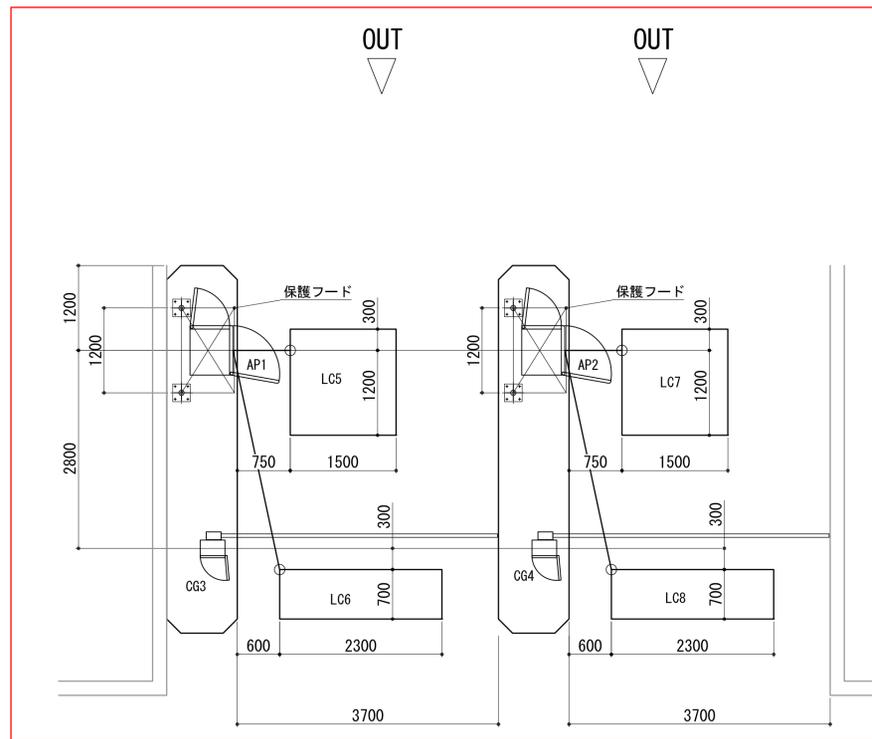
別添資料

1. 患者駐車場、職員駐車場平面図

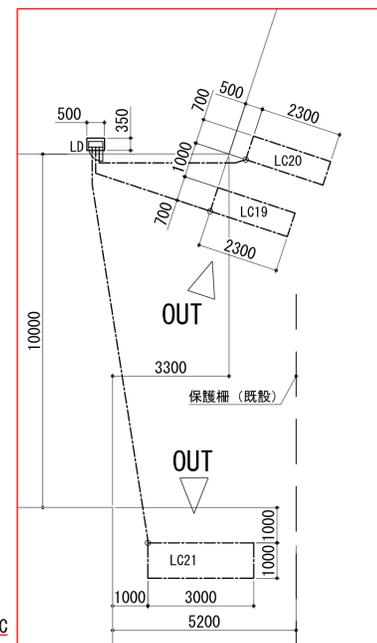
[別図 外構図]



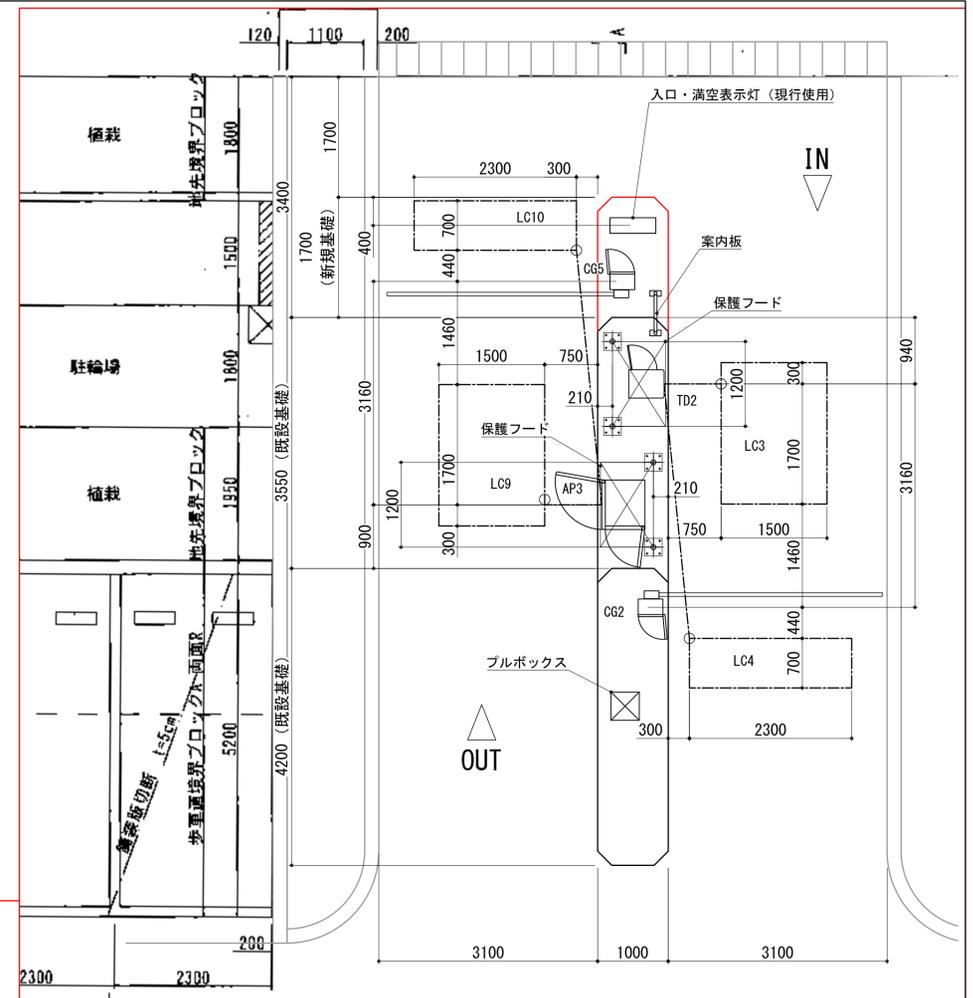
岐阜県総合医療センター			
工事名	岐阜県総合医療センター 南棟建設工事		
種別	配置図	図面番号	00202
縮尺	1:1000	作成年月	平成 31 年 3 月
設計者	大建設計株式会社 大田 登 氏 一級建築士氏名		
	大田 登 氏 大田 登 氏 大田 登 氏		



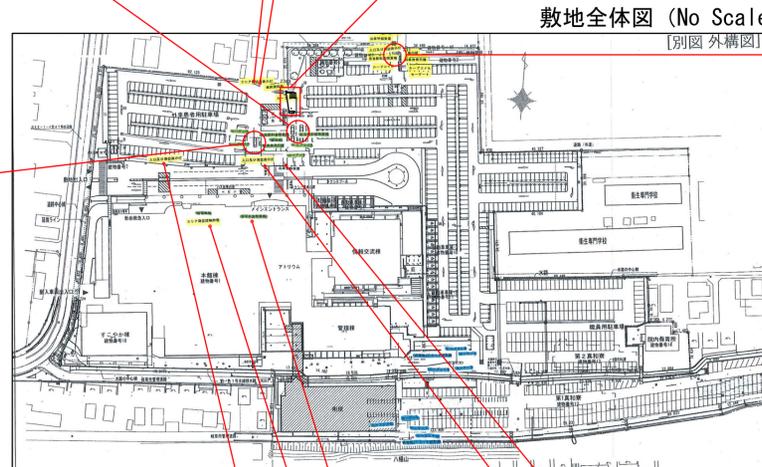
西出口機器設置詳細図 Scale: 1/50 (A1)、1/100 (A3)



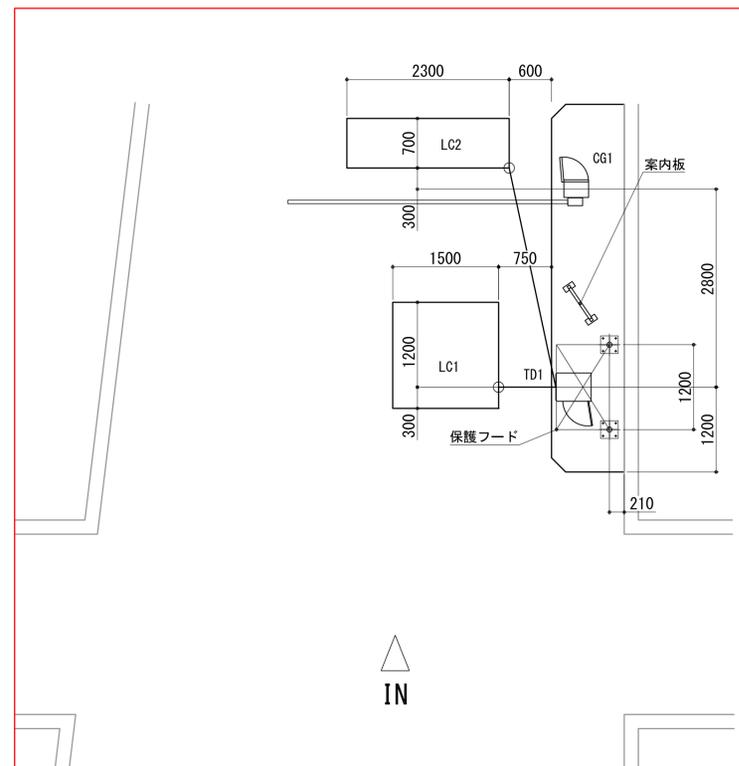
Aエリア境界部設置詳細図 Scale: 1/100 (A1)、1/200 (A3)



北出入口機器設置詳細図 Scale: 1/50 (A1)、1/100 (A3)



敷地全体図 (No Scale)



西入口機器設置詳細図 Scale: 1/50 (A1)、1/100 (A3)

エリア満空混表示灯VF
エリア満空混制御盤SC

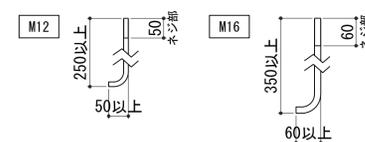
事前料金精算機APi
管制機器 (監視盤) MC
入口・満空表示灯 (現行使用)
出庫警報装置 (現行使用)

特記事項
・本設置図は、受領した資料を基にした概略図です。
・現地が図面と異なる場合は現地を優先するものとし、機器設置位置が変わる事があります。

記号	名称	備考	数量
TD	駐車券発行機		2
AP	全自動料金精算機		3
CG	カーゲート		5
APi	事前料金精算機		1
LC	ループコイル		13
LD	車両検知器		1
VF	エリア満空混表示灯		1
MC	管制機器 (監視盤)		1
SC	エリア満空混制御盤		1

アンカーボルトの規定

駐車場設備を固定するアンカーボルトの規格



- あと施工アンカーボルトを採用する場合は以下の事項を厳守すること。
 - ①基礎が所定の圧縮強度を有する鉄筋コンクリートであること。
 - ②基礎にヒビ割れや著しい劣化が発生していないこと。
 - ③施工は有資格者又は相応の技術を持ち合わせている者が行うこと。
 - ④採用するアンカーボルトの施工方法に則して適正に施工すること。
 - ⑤原則として、めねじ形の後施工アンカーは使用しないこと。

設計条件/注意事項

(設計条件)
・風速条件 : 基準風速=34m/sによる。【地表面相区分Ⅲ】

- (注意事項)
 - ・アンカーボルト類は溶融亜鉛メッキ製又はステンレス製を選定してください。
 - ・アンカーボルトのナット固定はバネ金などの戻り防止を施してください。《右記図A参照》
 - ・ボルト部が露出する機器については悪戯防止を施してください。《右記図A参照》
 - ・機器内部配線用の配管立上げ寸法を確保してください。《右記図B参照》
 - ・各機器へのリード線長は1.5m、表示灯機器のリード線長は3m程度確保してください。
 - ・機器間の配線系統は別紙系統図を参照してください。

《安全に関する注意事項》

- ・車両の出入ゲート車路に歩行者や自転車が入り込まないよう保護柵・保護ポール等により区画してください。
- また、駐車場内に駐車場利用者の入出通行路を設けてください。
- ・ループコイルセンサーの周囲にグレーチング等の金属物がある場合は、センサー機能低下及び誤検知の原因になります。グレーチング等の金属物との離隔距離を500mm程度確保してください。
- ・入口表示灯は前面道路の走行車両より目視確認できる場所に設置計画してください。
- ・出庫警報灯、回転警報灯は前面道路の走行車両及び付近を通行する歩行者より目視確認できる場所に設置計画してください。

